創樹会

始まり

「猪やマムシ」の出番でもあります。

あゆみ

護の職場宣言ひろしま【プラチナ法人】」

令和元年から受けていた

の桜も六十三歳を迎え、

随分樹勢も衰えました。

こんな暗いニュースのなか、

嬉しい知らせが届きま

「魅力ある福祉・

として引

春にはきちんと花を咲かせ、

山では山菜採りが

型コロナウイルスのオミクロン株感染が収まり

桜の花が咲く時期を迎え、

いよいよ春です

ね

为

い中で令和四年度が始まります。

戦争終結や感染症終焉のめどが立つことを願うば

にはいきません。この

としての責任とプライドを棄てるわけ

「創樹」が発刊される頃には

今年は桜の開花が少し遅かったようですが、

苑成人寮やグループホ

ム利用の皆さんも年を重

長年にわたり利用者の成長に応じて事業拡大し、職き続き認証されたとの通知です。昭和三十四年以来





ございまし がとう

2022年1月1日~2022年3月31日

*お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。(敬称略・順不同) *保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

•福山六方学園家族会、川金美智子、関係者1名

実習生•交流

2月14日~10日間 広島文教大学 広島文化学園短期大学 2月24日~10日間 2名 3月15日~10日間 広島文化学園大学

コロナウイルス蔓延防止のため、

今後の予定



- ●あゆみ苑成人寮(障害者支援施設)(生活介護事業)(短期入所事業)(日中一時支援事業)
- ●サポートセンターひびきの家(共同生活援助事業)
- ●サポートセンターかなで(日中サービス支援型共同生活援助事業)(短期入所事業)
- ●さわらび(生活介護事業)(日中一時支援事業)
- ●ヘルパーステーションあしすと(居宅介護・行動援護事業)(移動支援事業)
- ●ONE-すてっぷ(児童発達支援事業)(放課後等デイサービス事業)(日中一時支援事業)(障がい児療育等支援事業)
- ●相談支援センター風ぐるま(一般相談支援事業)(特定相談支援事業)(障がい児相談支援事業)

TEL:084-956-0255 FAX:084-956-5749



あとかいき

冬の寒さも徐々に暖かさに変わっ てきましたが、皆様いかがおすごし でしょうか。世間は未だコロナとい う言葉で溢れていますが、法人では 今後も感染対策を徹底し利用者の 安心安全に努めていきたいと思い ます。よろしくお願い致します。

(編集スタッフ一同)

■誌面イラスト:佐々木和徳・藤井正彦 ■誌面文字:藤井恵子

- ●福山六方学園(障害児入所施設)(障害児短期入所事業)(日中一時支援事業)
- ●サポートセンター友の家(共同生活援助事業)

- ●さくら(就労継続支援B型事業)(生活介護事業)

発行日:2022年4月20日

発行元: 社会福祉法人 創樹会 〒720-0832 広島県福山市水呑町7187番地1

fukuyamaroppou@soujukai-fukuroku.or.jp http://soujukai-fukuroku.or.jp

私たちは障がいのある人たちを守るエッセ

ついに原子力発電所攻撃や核兵器使用のニュースに出 機能も影響を受け始めています。 日ごとに激しくなる世界中での反戦デモや

クライナ侵攻が始まり、

住民への無差別攻撃に加え、

創りを続けることではないでしょうか。

令和四年度のはじめに当たり、この一年、

みなさ

ても固く不安定な言葉に聞こえます。

私たちエッセ

カーの願いはこの「えがお と ぬくも

たのですね。「安心・安全」とはよく言いますが、

私たち日本人はこんな素晴らしい言葉を持ってい

北京パラリンピック開催中にロシアによるウ

まり、創樹会の皆さんも免疫改善が進んでいると思 不安な時期が続きます。ワクチン接種も三回目が始 市では新年度を迎える今も感染の微増が収まらず、

「えがお と ぬくもり」

ラジオからこんな言葉を耳にしました。

感謝の気持ちでいっぱいです。

新たに四回目の接種が進められるよう

われますが、

大変な時期がありましたが、この措置も全面解除さ

人の流れも活発になりそうです。

福山

大変嬉しく、

一昨年から始まった新型コロナウイルス感染が急速

蔓延防止等重点措置が適用されるなど

実を図っているとの認証理由が添えられています。ス暇の「貯蓄」など独自の取り組みで福利厚生の充

極的な情報公開や産休前の特別休暇、年次有給休

気づくりなど組織風土もよく、

タッフの皆さんの日々の取り組みから生まれたもので

に拡大し、

時が流れています。

少なくなり、今では園全体も穏やか?になり静か

な

員が発言しやすく、

管理者に意見の出しやすい雰囲

ムページなど積

ね、昔のように山の散策や歩行訓練に出歩く姿も

創

んの周りに「えがお と ぬくもり」が絶えずあるこ 二〇二二 (令和四) 年四月一日 社会福祉法人 創樹会理事長 ご挨拶申 し上げま 西山 堅太郎

子どもたちの想い

を

コロ

ナ禍の中でも

つでも多く実現するため

皆さまと共に楽

(1

一日を

。福山六方学園

。 あゆみ苑成人寮

。! さわらび

管理者挨

笑顔の絶えずある新たな一年にむけ、 日常生活はいまだ思うようになりませんが 各事業所よりご挨拶申し上げます。



用する子ども達とご家族の 皆様にご心配とご負担をお は語れない一年となり、 昨年度も感染症無く

子ども達が通っている学校からコロナ 二名が接触者の判

理解してくれたことが私達職員の救いでした。 け想いを聞くようにしました。子ども達としては思い通 うDVDや漫画本をレンタルして提供し、またできるだ にも関わらず、ほとんどの子ども達が不平不満も言わず りにならない生活が七日間も続き、一番負担がかかった 私達職員は、子ども達の居室生活が少しでも楽しめるよ 接触者・接触者となった子ども個々の性格や行動を分析 なくされましたが、感染マニュアルをベ 定となりました。園内ではいつも以上の感染対策を余儀 まい、当園利用児一名が濃厚接触者、 して、その時の最善と思われる対策方法を検討しました。

く成長できるように、 この子ども達が少しでも楽しめるように、一つでも多 令和四年度は以下の重点項目で進

目的に、児童発達支援管理責任者・看護師を含めた個別 く実現するために自治会活動を強化する。④保護者・関係 きるよう職員の資質と意識を高める。②個別支援の充実を ①利用児一人ひとりの年齢や特性に応じた関わりがで ムを発足する。③利用児の想いを一つでも多

想いを常に持ち、子ども達と一緒に頑張って参ります。 福山六方学園は、『より家庭的に』と『利用児最優先』の

澤田 康晴

ましたが、年末よりオミクロ なっていると期待をしており ターコロナ・ウイズコロナに 昨年度当初、 出勤を控えていただくこと



田中創

リスマス会」を行うことができました。利用される皆さ で、一昨年度よりは少し盛大に「プチ夏祭り」「秋祭り」「ク ナウイルスへの感染予防対策が少しずつ分かってきた中 ありましたが、 として非常に脅威を感じながら新年度を迎えました。 がコロナ禍の中でも突出して多くなり、 昨年度も、法人行事や地域行事も中止になる状況では あゆみ苑成人寮での施設行事は新型コロ あゆみ苑成人寮

さんの笑顔が見られる一年にしていきたい けたのではないかと想っております。 利用者の皆さん・ご家族の皆さん・職員の皆さんのたく 嬉しいと思って頂ける支援を行い、こんな時代ですが ない・持ち込まない」の対応を取る中で、皆さんが楽しい・ 今年度も継続して感染予防対策に重点をおき、「感染し

ベントでしたので、職員と共に楽しい一日をすごして頂

んにとっては外出もままならぬ中での日常とは違ったイ

協力を賜りますよう、 今後とも皆様方の、ご指導とご

。| さくら(さをりひろば工房まち)

新しいことにも挑戦 どうやったらできる 9 か で

の異動など新しい出会いの た。新任職員を迎え、職員 令和四年度が始まり

様には益々ご健勝のことと

春爛漫の季節を迎え、

年になることを願って

い、元気のある

昨年度も残念ながら新型

ルスに飜弄され



管理者 猪原 義久

の開幕、今年も北京オリンピックの開幕で、 クにおいてもメダルラッシュで盛り上がり、 昨年は東京オリンピック -ツでも多くの日本人選手が活躍するなど、 パラリンピッ また、

その 私

た一年になってしまいました。さわらびにも何度となく

ぐ傍までコロナが迫ってきて、

事業所を数日閉所しま

利用者のみなさん・ご家族をはじめ関係事 水際で止まり感染が拡がることはありませ

たちに感動と明るい話題を届けてくれま.

を与えてきました。「さくら」では、 蔓延し、当たり前の日常生活を大きく変え、 組む必要があります。 対策と「持ち込まない」「拡げない」 けしました。また、三回目のワクチン接種が急がれる中 利用者の皆様や関係者の皆様へ、ご心配やご迷惑をおか 出ていませんが、事業所を閉所せざるを得ない状況があり、 このような時代がいつまで続くのか、私たちは感染予防 その一方では、新型コロナウイルス感染症は全国へと ことを継続して取り 今のところ感染者は 様々な影響

がら、作業内容の充実化を目指す」 新年度の「さくら」は、「安定した工賃の支給ができる 作業提供をして下さる企業様との連携を行いな ことを最重点項目に

満足していただけるサービスを提供してまいります。 員一同一丸となり、利用者の皆様へ安心と安全、そして 「できない」ではなく、「どうやったらできるのか」を職 今後もコロナを恐れずに、新しいことに挑戦しながら 戦争のない平和な日常が戻ること

。] サポートセンターひびきの家

迎えられる暮ら 「おかえりなさい 」の声に

【ひびきの家】

○一六年からは「すぷり て十年が経過しました。二 水呑八幡神社の下で む」が運営を開始し



片岡 志保美

ができないまま新年度を迎えました。 者の方やご家族と一緒にすぷり いところでしたが、コロナ禍ということもあり記念行事 という事業所として運営しています。 む」と他ニヶ所のグループホ - む十周年をお祝い. ムを含む「ひびきの 本来ならば、 家

か?ご家族のみなさんはどう感じておられますか? 少人数での共同生活はみなさんにとって、どうでした

ける暮らしができるように、感染症対策も行いながら支これからも職員は、みなさんが安心と楽しさを感じて頂 援をしていきます。 と覗き込む人がいる。そんな日々を積み重ねてきました。 は野菜を炒める音や煮物の匂いがしてくる。「夕飯は何?」 「おかえりなさい」の声に迎えられると、

こにも寄らないドライブだけ、 年間は、まさにコロナとともにすぎてきました。 三年目を迎えます。「かなで」が運営を開始してからの二 って今後も小さな工夫で楽しみを作り出し、 作りやスイカ割りなどを行ってきました。知恵を出し合 い日々でした。利用者の方も職員も先が見通せない生活の 二○~三○代の男性利用者が多いホー 少しでもみなさんが楽しんで頂けるように、おやつ 安心・安全な地域生活の維持に努めていきます。 通所の自粛など、 ム「かなで」は 感染症対策 制限の多

(3)第82号

的にも閉塞感が漂う現状ですが、「楽しい、元気のある一年」 だまだ終息には程遠い感じですし、 業所の方々には大変ご迷惑をお掛け 蔓延防止等重点措置は解除されたとはいうものの、ま

ナの武力抗争という不安定な状況にあり、

世界情勢もロシア、

になることを切に願って、

新しい年度を迎えます。

以下が主な新年度の重点事項です。

事業への移行、他事業所への利用変更等もあり、利用人 生活介護事業(定員四十名)に一本化します。 数が減少しているため、令和三年度末付けで事業を廃止し、 ②利用者のグループホ ①日中一時支援事業(定員五名)は利用者の生活介護

け入れのための働きかけをします。 新型コロナウイルス感染防止の観点からの利用減の影響 利用人数が減っているため、新規の利用者の受 ムへの異動・退所・入院の他、

の障がい特性に応じた質の高いサービスの提供ができる 閉症・強度行動障がいのある方の利用もあり、それぞれ 介護度の高い方が多くなってきた中、自

。... サポー

トセンター友の家〈

あ たり まえ の生活を

目指す ナこ め 9 創意工夫を

ために工事車 2工事車両が稼動 3寮前の池を廃止





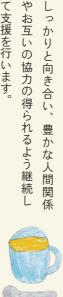
交流も期待できるかと思いますが、どうなることでしょう。 のようです。 います。 ための対応で、埋め立てられた後のことは未定 地域の方が集える場になると、ホ 流域の危険 ムとの

も の _ めの創意工夫、発想の転換が職員には求められていると 計画にも書きましたが「あたりまえの生活を目指す」 度末には家族報告会を行うことができ、 ワクワクしながら見ていたいと思います。 感染症の心配もしながら新年度を迎えましたが、 状態になったかなと思っています。 少しだけ「い 今年度の事業 5

域社会に生きる一員として」 感染症対策のための自宅隔離や行動の制限の中で 「居心地の良い生活の場」を創るために人権に配慮を ムを利用している人たちと 何をするのかを考えること

様式の変化に対応できるよう ス)を継続し、加齢に伴う生活 また、日中活動(フレンズハウ





管理者

卸町 \mathcal{O}

初めての春を迎えます 住宅地である ような企業団地とは ため、



めています。 水やり、土地の整備を行い、 えるように、挨拶をする傍ら、 地域に溶け込めるように努 せっ せと や花への

達等、準備を行っていく必要があります。少しでも万全 感染状況に関する早期の情報収集、感染対策の物品の調 は目指していきます。 な態勢を整えて、一人でも多くの支援に入ることを今年 難しくなってきています。手洗い・うがい・消毒はもちろん、 人員削減もあり、 新型コロナウイルスとの共存生活が続いて たくさんのニーズに答えていくことが いますが、

れば通常に近い支援ができるかを考えながら、

毎日のほ

援を提供できるように模索していきます。 無沙汰になっていますが、新しいお知り合いの方や新し 以前のような支援ができず、顔なじみの方々とは、 スや電車での外出ができないのであれば、 行き先の中で、出会いや楽しみも変わってきています。 今できる支

ない声、コロナ禍を通して気付かされたニーズもたくさ んありました。少しでも多くのニーズに寄り添い、「あし と」の支援を届けることができるように努力を続けて コロナ禍でしか見えないもの、 コロナ禍でしか聞こえ

∘ ハパーステーションあしすと ◊

めて気づ 禍を通し か さ 九 た = ス゛

会えな

C

時で

安心感に

つ

な

が

る支援

。! すてっぷ・ONE-すてっぷ・ふぁんたす・あさか

ιİ

 \supset

水吞町洗谷へ拠点を移し



くい状況が続

た一年」といったことが書か

黒田 将義 遽の閉所」 「関係者のPCR検査での

急事態宣言からの臨時休校_ 拶を読み返してみると、 一年前の自身の管理者挨 「見通しの持ちに 緊緊 急

中常 克彦

中一時支援あさか」では、どういった感染予防対策をす 等デイサービスONE‐すてっぷ」と「ふぁんたす」 いうことになります。 に新型コロナ感染症の不安を感じながらの毎日だったと ということは、 卸町の児童通所事業「児童発達支援すてっぷ」「放課後 私が管理者になってからの二年間は、

ための休業や欠席時における在宅支援(テレビ電話によ ともあります。昨年度ふぁんたすでは、 動を行っています。 しかし、どうしても閉所せざるを得ない状況になるこ 事業所に通えな 感染拡大防止 \mathcal{O}

援に取り組む予定です。 ONE-すてっぷでも、 等を行うことで、利用している時に近い状況を作り、 る支援プログラム等)を実施しました。 ます。まだまだコロナの収束が見えない中、すてっぷ しでも安心感に繋がる支援ができたのではないかと思 い時でも、心身の状況の確認、オンラインでの活動提供 スタッフの願いは「元気に通ってきてくれ それぞれに合った形での在宅支

コロナの状況が落ち着いてくれることを願っています。 ること」「一緒に楽しく活動すること」です とはいえ、 !一日も早く

。| 相談支援センター風ぐるま

間の大切さ

きなことに

熱中で

きる

昨年末にはコロナの感染 年明けから福山市で

も陽性者が 数も減少傾向が見られま 増えて いる状況

して学校

なってい ですごすことが多くなる中で、 なったり、在宅で作業を行い就労継続ができたりと、色々 だまだコロナの影響は大きなものになっています。 や事業所が休みになるとい いことも多いのですが、 しい試みも見られてきて お子さんがリモ る様に感じます。 絵画や工作など自分の好きなことをしてす トでの授業や会議・面談が以前より身近に 不登校や病気で学校に中々行け での授業参加ができるように もちろん対面で行えた方が良 つ たこと また、どうしても家 ムやパソコン、本、 起こっており、

族との相談の中の大切な部分だと感じています。 かけから新しい趣味や熱中できることを見つけた方もお ごせることも大切な力だと感じています。 とを見つけること、 春は卒業や入学、 かり考えることが大切ですが、 学校や事業所との関わり方、 新しい職場や人間関係など変化が多 ルの決め方などもご本人、ご家 趣味や好きなこ そういったきっ もちろん止め

ービス利用のための手続きや計画作成・情報提供など お子さんやご本人、 相談支援センター風ぐるまでは、 日々の生活の悩みやご相談もお聞 ご家族も期待や不安が

。... 事務局 🔷

柔軟な感染対策は ムワー クの なせる業

たある日、 に不審なメー つぼみが 事務局の窓から見える桜 法人内のパ 膨らみ始めて が複数届



山本 由紀子

現象についてインタ 不審なメ るなど、 した。不審メー した。調べてみると、これまでの してその原因が判り、 担当者は直ぐに手分けをして次の対応にあたり 解決するためにあらゆる手段を駆使しました。 ルの添付ファイルを開封しない いう連絡が入り 念のため、 ルの配信元に調査を依頼する・同様の ネットで検索する・関係先へ相談 ウイルス感染という最悪の 法人内の全てのパソコンに よう注意喚起

のみ。これから先もつないで欲しい事務局の強みのひと その苦しい時期を越えればあとはゴー やりとしたものからだんだんと方向性が見えてきます 報を集めることなどがひとつひとつの因子となり、 る業だと思います。 るようなことが次々と起きてきます。それをどうにか乗 想定外というものがあるということを知る一件でした。 仕事をしていると、 次につなげていけるのはチー 何かが違うと気づき伝えることや情 前例のないことや頭を抱えたくな ルを目指して進む ムワー -クのなせ

これまでと変わることなく柔軟に、 さて今年度も、きっと様々な難題が起きてくるでしょう。 力を合わせ乗り越え

鞆の津ミュージアム企画展『きょうの雑貨』 6月26日(日)まで会期延長!

事態は免れましたが、

セキュリティ対策を講じていても

全国にある福祉/ケアの現場から生まれる様々な雑貨を集めた企画展『きょうの雑貨』、今年に 入ってから急速にひろがったコロナ禍の影響をうけ、会期半ばで余儀なくされた臨時休館か ら再開できないまま、閉幕日を迎えるかたちとなりました。このような状況を鑑み、鞆の津ミュー ジアムでは、6月26日まで大幅に会期を延長。一部展示に変更はありますが、現在でも雑貨を 鑑賞したり、お買い求めいただけるようになっています。アクセサリー・バッグ・食器・文房具・お 菓子などなど、60を超える施設から1,000点におよぶ多彩な雑貨を展示/販売しておりますの で、あらためまして、この機会にぜひどうぞご覧ください。

【会期】2021年11月13日(土)~2022年6月26日(日) 【休館】月・火曜日(祝祭日は開館。年末年始〈12.31~1.4〉は休館) 【助成】公益財団法人 エネルギア文化・スポーツ財団













福山六方学園 山下 秀幸 Yamashita Hideyuki

今年度から社会福祉法人創樹会で働かせてい ただくことになりました。山下秀幸と申します。初め て社会にでるということで不安や緊張がありますが、 わからないことなどは先輩方に聞いて、自分なりの 支援を見つけ、利用者の方に楽しくすごしていただ けるような支援をしていきたいと思います。ご迷惑 をおかけすることもあるかと思いますが、積極的に 行動し、日々精進したいと思います。これからもど うぞよろしくお願いいたします。



福山六方学園 片山 裕貴 Katayama Yuki

今年度4月より配属されることとなりました、片 山裕貴です。利用者の方との日々の何気ないコミュ ニケーションを大切にしながら、4年間大学や実習 で学んできたことを活かし、より良い支援ができる ように頑張りたいです。先輩職員の方々の力もお借 りしながら、支援者として少しずつスキルアップして いきたいと思います。ご迷惑をおかけすることもあ るかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



さわらび 藤田 実空 Fujita Miku

この度、4月から働かせて頂くことになりました。 藤田実空です。大学で学んだことを活かしつつ、分 からないことは先輩方に質問するなどして積極的 に行動していきたいと思います。そして、利用者の 方との信頼関係を大切にして、その方の好きなこと などを知っていきたいです。また、運動や絵を描く ことが好きなので、長所を活かして一生懸命頑張り ます。どうぞよろしくお願いします。



荒木 郁海 Araki Ikumi

この度、新任職員として働かせていただくことに なりました、荒木郁海です。仕事で分からないこと は積極的に先輩方に質問するなどして、支援者とし て大切なことを身につけていきたいです。大学4年 間で学んだことや、福山六方学園・ONE-すてっぷ で実習・アルバイトをさせていただいて経験したこ とを活かして、利用者さんが安心してすごせるよう な支援をしていきたいです。ご迷惑をおかけすると 思いますが、よろしくお願いします。



あゆみ苑成人寮 辻 怜菜

今年度からお世話になります。辻怜菜です。今ま で学んだことを生かしながら、多くのことを経験し、 考え、更に学びを深めていきたいと思っています。 利用される方々にとって最善の利益となる支援を模 索し、様々な方と楽しく関わっていけたらと思いま す。未熟ではありますが、利用される方々や先輩の 職員の方々のお役に立てるよう、努力を重ねていき ます。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いします。

Tsuji Reina



ひびきの家 佐々木 かれん Sasaki Karen

今年度4月より配属されることになりました、 佐々木かれんです。大学では、社会福祉コースで ソーシャルワーカーを目指して4年間学んできまし た。最初は経験不足で、皆様にご迷惑をおかけす ると思いますが、職員の方にご指導していただき、 利用者の方に寄り添った支援ができるよう、自分自 身の技術面・精神面を鍛えて成長したいと思いま す。よろしくお願いします。



すてっぷ 中山 茜理 Nakayama Akari

この度、新しく創樹会の一員となりました、中山 茜理です。私は、利用者の方々がすごしやすいと思 うことのできる環境を作ったり、相手の立場に立ち、 視点を増やして物事を考えたりしていきたいと思っ ています。まだまだ分からないことが多く、迷惑を おかけすることも多々あるとは思いますが、今まで の経験や学んだことを活かして努めていきます。不 束者ですが、精一杯努力して参りますのでよろしく お願いいたします。



ふぁんたす 大賀 陽生 Oga Haruki

この度、4月から新人として働かせていただくこと になりました。比治山大学の社会臨床心理学科か ら来ました、大賀陽生です。大学では、実習や福祉 施設のボランティア活動にも参加した経験もあるた め、そこで学んだことを活かし、利用者の方、またご 家族の方に支援を行えるよう頑張ります。まだまだ 未熟者でご迷惑をお掛けすることもあるかもしれま せんが、先輩職員の方からわからないことは多く学 び、精進してまいります。よろしくお願いします。